



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!



新年明けましておめでとうございます。本年もTAC一同よろしく願いいたします。

昨年は米の作柄が大変よかった年となりました。ご協力ありがとうございました。
 私たち TAC も「TAC 農業所得20%アップ2020」の活動目標を掲げました。
 昨年の活動は平成27年産米において、米が大きく減収した点の改善を重点に活動を行いました。
 (今年の活動で重要と感じた点・・・収量向上を目指すには、)
 ◎出穂後の登熟を向上させる努力をすることが一番大切であると感じました。

収量向上

平成28年度「TAC 農業所得20%アップ2020」総括

TAC担い手訪問先のJA出荷結果で検証(平成28年産JA出荷分)

単位：千円

支店名	対象担い手数(人)	27年産	28年産	H28-27	アップ幅
中央柏崎	8	52,563	59,264	6,700	13%
南部高田	25	150,848	199,121	48,273	32%
東部田尻	34	196,472	291,045	94,573	48%
北部西中通	26	247,398	325,581	78,183	32%
高柳	12	19,979	28,541	8,562	43%
小国	16	216,771	293,310	76,538	35%
刈羽	20	148,804	193,846	45,042	30%
西山	20	88,746	120,201	31,454	35%
総計	161	1,121,582	1,510,909	389,327	35%

仮渡金単価のアップと増収により全支店
 合計で平成27年産に対して35%売上額
 が向上しました。

※JA米、一般米、備蓄米、加工用米、飼料用米のJA出荷分の累計金額です。

注：飼料用米等概算で計算したものもあります。

TACとして平成27年産米に対して、必要経費が5%上乘せ(収量向上を目指した経費)を差し引いて、平成28年度TAC農業所得20%アップ2020活動は、**30%の所得向上が図られた**と結論付けさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

平成29年度「TAC 農業所得20%アップ2020」活動の柱について

活動	実践内容
経営診断	web簿記システムの推進を実施し、PDCAサイクルの実践で安定経営を支援します。
所得向上提案	平成28年度 of 取組みを継続し、水稻の品質、収量向上に向けた支援を実施します。
	JA柏崎スタイルのモデル経営を年度中に確立する実証を支援します。 戦略作物：コシヒカリ、こしいぶき、業務用米、大豆、園芸重点品目 (平成30年対策の実践)
コスト低減提案	肥料農薬直送対策のコスト低減の普及提案
	農業機械の計画的な更新の支援

TACと腰を据えて次年度の計画づくりを実行しましょう。

TACにご相談ください。

TACと所得向上に向けた計画づくりをしませんか？

行動計画	実施時期	PDCAサイクル
①今年度作付けの振り返り	10月～2月	Act (改善)
②次年度目標の設定		Plan (計画)
③目標達成に向けての行動計画		
④計画実施、中間の検証、データ蓄積	育苗期～収穫期	Do (行動)
⑤行動した結果の分析	10月～11月	Check (評価)

★需給情勢、研修会情報★

①平成29年産米の水稻生産数量目標が示されました。

各個人への配分については2月上旬にご提示させていただきます。

	生産数量目標 (トン)	面積換算値 (ha)	昨年増減 (面積換算値)
新潟県全体	510,184	94,480	-1,026ha
柏崎市	15,449	2,970	-4.74ha
刈羽村	2,127	391	-0.25ha
小国町	3,591	712	-33ha

上記のように、米の需給状況は昨年より減反強化となりました。

生産数量目標達成に向けて、大豆、園芸重点8品目(カリフラワー、ブロッコリー、玉ねぎ、アスパラガス、枝豆、越後姫、里芋、人参)を積極的に推進します。

②柏崎・刈羽地域農業者大会開催

○日 時 平成29年2月1日(水) 午後1時30分から午後4時まで

○会 場 柏崎文化会館アルフォーレ 大ホール

○内 容 ・JA柏崎お米の食味コンテスト表彰式

・講演「夢のある農業経営について」農業ジャーナリスト 青山 浩子様

・「新之助」生産対策等について

・本年度稲作の作柄と次年度対策について(柏崎地域振興局)

・30年以降の米政策に向けた取組について(JA柏崎)

平成29年産米作付けに向けての意識統一です!!
よろしくお願ひします。

③農家収入保険制度の概要および加入要件となる農業所得青色申告制度説明会開催

○日 時、時間、会場

日時	支店名	時間
2月6日(月)	南部高田支店	午前10:00～11:30
〃	刈羽支店	午後 1:30～ 3:00
2月7日(火)	東部田尻支店	午前10:00～11:30
〃	小国支店	午後 1:30～ 3:00

○内 容 ・農家収入保険制度について

・農業青色申告について(柏崎税務署)

・JA柏崎の農業所得申告支援について

青色申告は3月15日までに税務署へ届け出が必須です。

※収入保険制度：平成31年開始予定の「農業経営全体の収入保険制度」

加入条件は1年以上の青色申告をしている農業者

★新之助情報★

新潟の未来の希望の星「新之助」！！

平成28年産の取組み状況

生産者数	面積	品質
8名	3.4ha	全量1等

・平成29年産は、いよいよ一般販売がスタートします。作付け面積は56haを予定しています。

★あきだわら（主食用水稻晩成品種、多収性）情報★

田植え:5月10日頃
収穫:9月28日頃

平成28年産の取組み状況

生産者数	面積	品質	平均収量(10a)
10名	34.9ha	1等米比率30.0%	11.7俵

・原因としては、一穂当りの粒数過剰による登熟不足や、「紋枯病」も発病したことにより「除く青未熟粒」での格落ちが発生しました。

★大豆情報★

平成28年産の取組み状況

生産者数	面積	品質	平均収量(10a)
38名	117.4ha	3等比率15.9%	187kg

・主な格落ち理由は、「しわ」、「汚損」、「虫害」になります。

★飼料用米情報★

平成28年産は作況が向上した分
基準単収が調整されます。

①数量払いにおける作柄調整の導入について

平成28年産において作況がよかった事から地域の基準単収の調整が図られます。
(計算方法:例) 田尻地区、平成28年基準単収546kg/10a

地域の基準単収(田尻546kg) × 108% (今年度の中越地区の作況指数) = 作柄調整後の基準単収 (田尻地区では591kgになります。)

②平成28年産の取組み状況

生産者数	面積	平均収量(10a)
176名	251.4ha	10.95俵

昨年は平均収量(10a)10.2俵でした。

お問合せ先 営農指導課 TEL0257-21-2095